京城日報 朝刊

魯西地區進撃の精鋭 忽ち大金山荘を占領

太行山脈進撃部隊 敗走匪群を撃摧

【魯西前線四日同盟】魯西地區東平湖西岸に集結中の共産軍第十五師教導第三旅第八軍主力および第三縱隊の約三千を捕捉殲滅すべく一日拂曉突如新行動を開始したわが精鋭各部隊は同湖西岸戴家廟東平湖西北二十五キロを中心に一大包圍鐵環を形成しつつ敵を隨所に捕捉撃攘、二日午後四時遂に敵が牙城と恃む大金山荘を占領するとともに息つく間もなく湖畔および諸島嶼に共産軍を掃蕩中であるが、現在までに判明せる戰果左の通り 敵遺棄死體四六四、捕虜四五、鹵獲品小銃一四一その他多數

【太原四日同盟】阜平北方および西方地區の太行山脈峻嶮地帶に熾烈なる掃蕩戰を續行中のわが諸部隊は士氣いよく\軒昂、隨所に敗走匪群を捕捉し戰果擴大中であるが、常延部隊は九月卅日早朝阜平北方十五キロ六甲山周邊で第二軍分區第六團本部及び第一營の約三百五十を發見猛襲を加へ完膚なきまでに撃摧、つぎの如き戰果を收めた 遺棄死體六三、捕虜十七、鹵獲品小銃四四、同彈藥一、三二五、その他多數

赤軍、飽くまで死守

最後迫るス市に敢闘

【ベルリン二日同盟】スターリングラードの最後がいよく\切迫するに伴ひ赤軍は萬一の起死回生に望みを繋いで反擊に躍起となつてをり戰況は活氣を呈してゐる、一日のクラスナヤ・ズブエズダ紙がスターリングラード市にゐる殘兵に對し死をもつてこれを守り通せと改めて檄を發してゐるところから見ても、赤軍統帥部は殘兵の死守をもつてその陷落を一日でも延ばす以外に方策のないことを示すものである、モスコー通信によれば獨軍はどしどし新鋭部隊を市街北方に繰込み市街の西北方に連なる郊外の高地オーロワに突入しその西方に陣地を敷いてゐた赤軍有力部隊を完全に包圍し敵の抗戰力を一擧に低下させ市街北方の工業地區攻擊に非常に有利な態勢をとるに至つた、市街北方およびドン河、ボルガ河の中間地帶からの赤軍の逆襲は相當大規模なもので、殊にドン河に沿ふ一帶では相當の激戰を展開してゐる、一方ツアプセ戰線の獨軍は峻嶮なる溪谷を越え着々前進してゐる模樣であるがテリヨク戰線ではまだ見るべき前進は發表せられてゐない

中北部戰線では赤軍の反撃と獨軍の攻擊により戰況は多少活潑になつてゐる、ラドガ湖南方地區では獨軍は赤軍數個師團の包圍殲滅戰に成功した、二日獨軍當局の言明によると赤軍はレニングラードの戰線では依然後方から補給をうけてゐると言明し包圍下の赤軍がなほ相當の攻擊力をもつてゐることを示唆してゐる

包圍鐵環、愈よ縮小

【チユーリツヒ特電】(三日發) モスコー來電によれば北方よりするドイツ軍のぢり押しの進入と南方地區部隊の增强によりス市包圍鐵環は極度に縮小されドイツ軍勢力は數日前に比し倍加してゐる、一方西北の一地區におけるソ聯軍五度に亘る反擊は何れも失敗に歸し第六回の反擊は俄然ドイツ軍の猛擊によつて忽ち擊退され一擧三百米の前進を許した、一地區ではトーチカ化せる一建物に據りソ聯軍は猛烈な逆襲に出で空陸より六千箇の破爆彈を集中したがドイツ軍は遮二無二これを突破遂にソ聯軍をして後退せしめた

獨軍戰況發表

【ベルリン三日同盟】獨軍司令部三日發表、獨英戰線

一、十月一日夜獨快速艇隊は敵の猛烈な防禦砲火を冒し英佛海峽沿岸を攻擊、敵二千五百トン級商船一隻および掃海艇一隻を擊沈した

一、二日英空軍は晝から夜にかけ獨西部地方を空襲し來り、數都市では住宅地區に多少の損害を生じたが、獨軍は敵爆擊機五機、戰鬪機七機を擊墜した

一、獨空軍は二日白晝英南岸地方の重要軍事施設に低空爆擊を加へ多大の戰果をあげた

米、今更アラスカを見直す

【リスボン三日同盟】敗戰挽回に狂奔しつつある米國としては…シカゴ來電によれば最近アラスカの視察旅行を終へて歸米した共和黨上院議員ロハルド・バートンはアラスカの軍事的重要性を强調して左のごとく述べてゐる

日本に對して勝利を得るためには是が非でも東京を叩かねばならぬ、しかして現在東京への最もよい道路はアラスカを起點とするもの以外にはない、米國はアラスカ公路は萬死を賭しても確保しなければならぬ、この公路さへ確保しておけば海陸空三面から日本に襲ひかゝり日本を敗北せしむることができるのだ

號令も總て日本語

賴母し新生中國海軍の訓練

【廣東四日同盟】大東亞共榮圈建設の一環を擔ふ新生中國の海軍育成はわが海軍當局の眞劍なる指導援助のもとに着々進められ、目覺しい成果を收めつつある、殊に近海、內河の防衞、治安維持に任ずる中國の若人たちの錬成訓練は無敵日本海軍傳統の敎育指導によつて、嚴格猛烈を極め、その躍進ぶりは眞に驚異すべきものがある、記者は一日廣東郊外〇〇に杭州要港司令部練兵營を訪ねて彼ら若人たちの眞摯敢鬪の訓練ぶりを視察した

『氣をつけ』『右向け右』中國人下士官の日本語の號令が澄み切つた蒼空に響き渡る、颯々とした營庭では朝露を踏んで猛訓練の最中であつた、營舍の階段を登ると正面に『軍令は山の如し』と書かれた檄文が入り廊下は塵一つ止めずふき淸められてある、營庭では射擊や突擊などのきびく\した氣魄ある動作、熟練した手旗信號、一糸亂れぬ漕艇操などが展開されてゐたが、その躍進ぶりは目を瞠るばかりの見事さで力强い限りである

記者は二室で營長黃榕鍵中校以下十數名の中國側職員と膝を交へわが加納輔導官から敎育狀況その他について聽く

この練兵營は昭和十五年五月廿七日廣東に江防司令部が設置されるとともに水兵養成機關として設立され、わが海軍の支援と中國海軍顧問大橋大佐以下の直接指導とによつて敎育を開始した、今日まですでに四回修業生を送り出し、現在第五期生(敎育期間は五ケ月、募集人員は百二十名、年齡は十…ら最高廿二歲位である、訓練方法は大體日本式に近いので修業後直ちに役に立つ水兵を養成する、時起床九時より訓練開始、午後七時まで正味九時間、訓練科目は軍事敎育、航海術のほか日本語

かくして一通りの訓練が終ると修業前一ケ月を軍艦に乘組んで監務實習を行ふが、このうち優秀者廿二、三名が選拔され上海の龍王學校に入學し獨習兵として六ケ月間敎育される、獨習兵以外の訓練終了者は直ちに三等水兵として中國の海の護りにつくわけである

一方練兵營內には慰安設備は殆どなく、樂しみといへば入營一ケ月半後はじめて許可される一週間の外出か、月一回營內で行はれる映畫ぐらゐで營內生活は至極簡素なもので、成績はなかく\良好で最近の入營者はことに質的に向上して來た、また大東亞戰爭勃發後生徒の士氣がとみに昂揚したことは驚くばかりで賴もしい限りだ

小倉侍從平壤着

【平壤電話】畏き邊りより御差遣の小倉侍從は四日午後三時四十分着列車で來壤、同五十五分平南道廳着、約四十分間道內官民代表者を接見ののち平壤神社に參拜、秋色彌濃き牡丹台の風光を賞でゝ同五時五分宿舍鐵道ホテルに入つた

想起せよベルダン

赤い星 米英へ不滿表明

【リスボン三日同盟】スターリングラードの危機增大と共にソ聯の米英兩國に對する第二戰線展開要求をめぐる不滿はいよく\露骨化してゐるが、三日モスコー電によれば赤軍機關紙『赤い星』は同日戰況において『スターリングラードとベルダン』といふ一文を揭載『かつてベルダンは聯合國軍の緊密なる協同作戰によつて救はれた、しかもその時、ロシヤ軍も汙遠ながら牽制作戰を行ひ佛軍のベルダン死守に貢獻したのである』と左の如く述べ、現在の聯合軍の不誠意に痛烈な一矢を酬い第二戰線の即時展開を强く要望してゐる

第一次大戰において佛軍は聯合軍の救援によりベルダン死守に成功し斯くて世界をドイツの支配から救つたのである、思へば一九一六年のベルダン戰においては獨軍は全くなく、また飛行機とても殆んどいふに足りないものであつた、しかるに現在スターリングラードに對しては數千の戰車が殺到し獨空軍は空を蔽つて來襲してゐる、目下スターリングラード攻略に向けられてゐる獨軍は三十個師を下らないが、ベルダンでは僅かに十五個師程度のものであつた、實にベルダンは、聯合國の相互援助によつて救はれたのである、すなはちベルダンが將に陷落の危機に瀕した時、佛軍司令部は英軍當局に對し佛軍を戰線から離脫せしめないためには今こそ英軍の攻勢作戰が必要であると訴へたのであつた、これと呼應して當時未だ萬全の準備が整へてゐなかつたロシヤ軍もまたベルダン救援の行動を起したのである、その當時の佛軍最高司令官ジョツフル元帥はこのロシヤ軍の行動こそ事態を全面的に變更せしめたのであると述べてゐる、一方ジョツフル元帥からの急報により英軍が新行動を起すに至り、遂に獨軍は英、佛、露と三戰線を同時に展開するの已むなきに至り斯くてベルダンは救はれたのである、これらの事を想起しつゝ現在の戰況を見るならば如何であらうか、赤軍は一年四ケ月に亘り激戰を續けて來たが、聯合國は何等の救援をも行つてゐない、これこそベルダンとスターリングラードの最大の相違點である

英軍の素質劣惡

ロメル元帥、北阿戰線を語る

【ベルリン三日同盟】北阿作戰における赫々たる武勳に輝くロメル元帥は目下ベルリンに滯在して多忙な日を送つてゐるが、三日午後ゲツベルス宣傳相列席の下に外國新聞記者團を引見左の如き一問一答を試みた

【問】最近北阿戰線に現れた米國製武器に關し感想を承りたい

【答】北阿戰線には米國製武器が現れてゐるが戰車はその構造惡く裝甲も不十分で大した脅威とはならない、しかし率直にいつて新型米國戰車は相當改良されてゐる、しかしこれら戰車も獨軍のため壁碎され戰線の遙かうしろに殘骸を曝してゐる、わが軍が七月以來擊破した敵戰車は二千五百台に達する

【問】沙漠戰における英軍との戰鬪の模樣は

【答】英軍はアフリカ戰の經驗を生かしてゐる、この點はわれわれより一日の長があるわけだ、英軍はアフリカの土着民を交へる混合部隊なので訓練も行屆いてをらず戰鬪方法も劣惡極まるものだ、獨伊兩軍は極めて緊密な聯絡をもつて行動してをり指揮系統もまた統一されてゐる、戰鬪は日を逐つて激烈になつてゐるが、兩軍は次第にこの戰鬪に慣れ、見るものとてはない涯しのない廣漠たる沙漠でしかも灼けつくやうな太陽に曝されて勇戰中である

渡滿學生機福岡着

【福岡電話】四日朝羽田を出發した渡滿學生機一行はまづ佐藤指揮官機が午後三時四十分雁ノ巣飛行場に無事着陸・次いで同四時五十分第一・第二・第三の各編隊いづれも鮮かに着陸したが一行は同地に一泊・五日午前七時發一路京城へ向ふ【寫眞＝雁ノ巣飛行場にて】

兩製錬所を視察

小磯總督、淸津へ

【淸津にて井上特派員發】北鮮視察行第四日、咸南視察を終へた小磯總督は四日午前七時卅四分元山から淸津に到着、直ちに大野祕書官、大野咸北知事、山本警察部長等を隨へて三菱淸津製錬所を訪ひ山下所長の案內で場內を視察、引續き日鐵製鐵所に赴き三鬼所長の案內で工場內を巡視同十時半朱乙に向つた、なほ同夜は朱乙に一泊、五日は午前九時出發、羅南に向ふ

高松宮殿下

發明展に御成り

【東京電話】發明協會總裁高松宮殿下には四日午後一時半特許局構內で開催中の發明展覽會に成らせられ中村特許局長官らの御案內で科學日本が誇る最新の研究の成果七百餘點を御覽遊ばされた、殿下には一歩ごとに立ち止まられケースの中の陳列品を御手にとつて御下問になる御熱心さで、殊に電氣通信、內燃機關、金屬などには御興深く拜せられ、金屬無給油軸承については係から『これは金屬に油をしみこませたものでございます』と說明申し上げると『この種のものは從來金屬の粉末を固めたものであつたがこれはさうではないのか』と御下問になるなど專門家もその御造詣の深さに驚歎申上げるばかりで五時の閉館際まで三時間餘にわたり御覽遊ばされた【御寫眞＝特許局にて謹寫、謹電送】

馬鹿見るのは重慶

ウイルキーの策動も全く夢

好富情報部長放送

【南京四日同盟】日本大使館好富情報部長は四日午後六時三十分より二十分間にわたり『重慶訪問中のウイルキー特使に告ぐ』と題する放送を行つたが、重慶懷柔策として中國における治外法權撤廢を提案せんとするウイルキーの魂膽を暴露するとゝもに、米の援蔣借款および武器貸與などの好餌がわが完全なる封鎖によつて空想となつた現實の事態を明かにし、ウイルキーの策動を完膚なきまでに粉碎した、放送要旨左の通り

今回米國がウイルキーを特使として派遣したのは抗戰意識の無くなりつゝある國々を親しく訪問してこれを激勵し英米のために最後まで戰はせるためである、卽ち重慶はビルマルートを失ひ外界との交通がほとんど全部遮斷せられたため武器および軍需品の不足はもとより物資缺乏と物價騰貴とによつて民衆の困窮はその極に達し地方軍隊ことに傍系軍內部において蔣介石が傍系軍を抗日の第一線に立たせ一面日本軍を牽制するとともに、漸次これら傍系軍を處分して行く方針をとつてゐるので、最近これら軍首腦に動搖の兆が見えて來たのである

また在支米空軍は八月下旬から九月上旬にかけてのわが軍の攻擊によりその大半を失ひ爾來成都、重慶、昆明などの各地に逃避して一回も和平地區に對し遊擊的爆擊をなすものを有しないのである、從來印度を經由して重慶に輸送してゐた米國飛行機も英國が北アフリカ戰線において苦戰に陷りその方面にこれら飛行機を振向けることとなつたため近來はほとんど重慶に對する飛行機供給のあとを絕つに至つた狀況にある、これらの事情から重慶側においては政府、軍、人民が一樣に漸次抗戰意識を失ひ、ひそかに和平を希望するの風潮を現はして來たのである

これは英米、殊に米國にとつてはまことに由々しき一大事であつて若し萬一重慶が抗戰を止めることゝもなれば、米國としては日本の軍力を一手に引受けなければならないので如何なる手段に訴へても重慶の和平を喰ひ止める緊急な必要が生じて來たのである

ウイルキーは實にかゝる米國の逼迫した必要から派遣されたものであつて換言すれば支那を救ふためではなく米國を支那によつて救つてもらふ爲に來たのである、ウイルキーはかくの如く重慶を激勵し、その戰意を昂揚するのが目的であるから、必ずやこれを喜ばすべき何らかの提案をすることゝ思はれる、私の見るところではまづ第一に支那における治外法權の撤廢を提議するのではないかと考へる、すなはちアメリカは從來治外法權として北京、天津における駐兵權、上海共同租界における投資權益と在支米國人に對する領事裁判權などをもつてゐたが、すでに北京天津および上海は日本軍の占領によつて南京國民政府の管轄下に屬し米國の駐兵權も亦そのための權益も悉く破棄されてしまつてゐるのみならず、米國の領事裁判權は全然廢止されてゐるのである

また重慶に在駐する米國人も大部分が外交官であつて國際法上は依然として米國に殘るわけであるの治外法權の特權を享有してゐるので米國がたとひ治外法權を撤廢してもなんら痛痒を感ずることはない、日本および國民政府の手によつて完全に喪失したものを麗々しくもつたいづけて重慶に附與するといふに至つてはこれほど虫のよい話はない、果して重慶がこの米國の有名無實な贈物を喜ぶかどうか疑問である

ウイルキーはまた對支借款や武器貸與法などを振り翳して重慶を喜ばせるであらうが、これまた米國としてはほとんど實害ない提案である、すなはちいくら武器を支那に與へるもこれを重慶に送るべき道がないのである、從つて如何に米國が重慶に武器を貸し金を貸し又武器を與へる約束をしても事實の問題としてはこれらの金や武器は依然として米國に殘るわけであつて少しも米國の腹は痛まない、かやうに米國としては自分の懷の痛まない方法で正義人道を看板として支那に對する『同情』と『援助』を押賣りして大々的にこれを宣傳すること思はれる、もしその結果として重慶があくまでその國土と人民とを犧牲にし對日抗戰することになればこれによつて利益するものは結局英米であり、實害をうけるものは支那である、米國が眞に支那を愛するならばほかならぬ中國人否全アジヤ人が最大の屈辱として痛憤措く能はざる米國移民法、土地法などを改正すべきである、今日直ちにこの不正極まる移民法、土地法その他の支那人排斥法を廢止すべきであるしかるに彼は有名無實な僞人道的提案をなさんとしてゐる、ウイルキーの厚顏無恥また驚くのほかないのである

日く自動戰鬪燃燒板

獨軍、驚くべき新兵器を使用

【ストツクホルム特電】(三日發) ソ聯側の報道によればスターリングラード及びコーカサス戰線のドイツ軍は最近またもや驚くべき新兵器を使用しはじめたといはれる右新兵器は『自動戰鬪燃燒板』と稱すべきもので、それが置かれた周圍五米に亘り七百度の高熱をもつて赤々と燃え上り一切のものを燒き盡し、あらゆる金屬を熔解すると共に附近にある岩石、石材等をも忽ち破碎させるといふ驚くべき威力を示してをり、ソ聯軍は勇敢にこの新兵器に對抗して髮を燒き、肉をたゞらせ燒ける銃身を握つて文字通り生不動と化しつゝ眼もあてられぬ悲慘な戰鬪を續けてゐるとユーピー通信は報じてゐる

本年度內地產米

七千萬石收穫の見込

【東京電話】本年度內地の稻作柄は農林省から『良』と發表されその後天候は概して順調な推移を見てゐるのでこの分でゆけば大體產米は七千萬石に近い收穫高をあげるものと豫想され、前年度より一千萬石程度の增收は可能となるに至つた

しかし一方朝鮮においては植付水不足の影響をうけて稻作はじめ粟、稗その他の雜穀類は軒並に相當程度減收の見込みとなり從つて內地への移出は從來通りの量を期待することが困難となり、また台灣米も一期二期作を通じて大體平年作を豫想されてゐるが、最近特に島內における消費激增のため內地への供給は年々減退傾向にある

內外地におけるかゝる本年度生產事情を基礎として明年度內地の食糧問題を見ると依然として從來通りの外米確保が必要であり、この點に關しては一層陸海軍當局ならびに南方共榮圈米產所地域の努力と協力にまたねばならぬ事情のもとに置かれてゐる、現在泰、佛印當局をはじめわが軍政下にあるビルマ民衆もわが食糧政策に全面的協力態度を示し、各地域內消費を除く全輸出力をあげてわが方に供出を約しこれが集荷ならびに船積みなどに積極的援助を惜まない點についても內地政府當局はもちろん全國の齊しく感謝するとともに民わが戰時食糧の絕對的確保に關し共榮圈全體の積極的協力を希望してゐる

儲備券を育成

靑木國務相 上海で語る

【上海四日同盟】四日午前南京を出發した靑木國務相は午後二時廿分上海着、アスターハウスに入り同五時半より軍官民を多數招待し…

靑木國務相歸朝の途へ

【南京四日同盟】一日入京以來汪主席ならびに日華各方面に對し最高經濟顧問辭任の挨拶をなしつゝあつた靑木國務相は四日午前九時發列車で南京を出發、歸朝の途についた

…り今後の方針について事新しく相談することもなかつた、最高顧問が變つても國府育生强化の方針に何らの變化もないことは勿論のことである、儲備券は今後も一層の育生を必要とするがわが政府としてはその育生にはあらゆる努力を拂ふことはすでに聲明された通りである、支那問題の重要性については政府も充分認識してゐるが自分は支那問題に關して認識を有する一人であると思つてゐるので今後これを生かして行きたいと思ふ

ル大統領インフレ防止案に署名

【ブエノスアイレス二日同盟】ワシントン來電＝米大統領ルーズベルトは一日午後十時十五分議會より廻附されたインフレ防止法案に署名した、これによりルーズベルトが九月七日議會に對する教書をもつて要求した十月一日までの立法は曲りなりにも實現したわけである、骨子つぎの通り

一、大統領は賃銀、俸給および農產物最高額決定上廣汎な權限を使用する

一、但し大統領は本年一月一日以降九月十五日までにおける最高額以下とするを得ない、もつとも甚だしき不均衡を是正する場合は例外とする

一、雇主および雇傭者が大統領の發布すべき規則に違反して賃銀または俸給を授與した場合は最高一千ドルの科料に處す

ウイルキー

蔣介石らと會談

【リスボン三日同盟】重慶來電によれば重慶訪問中の米大統領特使ウイルキーは三日朝林森主席を訪問、ついで正午重慶政權本部における林森の招宴に臨み蔣介石その他要人と會談した、一方重慶各紙は連日彼の動靜を大々的に報じ彼の重慶入りは米國、重慶間の不變の友好關係を示すものであると提灯をもつてゐる

消息

◇金信錫氏(東一銀行常任取締役) 全南へ出張中、四日朝歸城

必殺の氣合
曉闇衝いて郷軍の竹槍訓練

〝えいやあー〟の掛聲と共に繰出される竹槍數百、まさに血を吸はぬばかりに磨きすまされた穂先がしつとりと濡れて靜かな秋の朝まだき、聖域南山に必殺の氣合がこだましてゆく、こゝ京城三坂國民學校々庭には郷軍の荒武者たちが錬武の道に必死の敢闘をくりひろげてゐる、これは在郷軍人三坂分會が毎月第一日曜の朝を常會日と定め、武道の錬成に勵むのだが、けふはその第五回目の常會、この朝も秋の朝まだき六時半から三百餘名の郷軍健兒が竹槍訓練に猛り立つてゐる、京城分會長安部少將三坂分會長中島少佐らの顔も見えて、これら郷軍の恐ろしいほどのたぎる意氣にたゞ呆然としてゐる裂帛の氣合はさらに銃劍術へと移り、木劍揮ふ腕はしめつた朝風に唸る、郷にあつても常に第一線の意氣と熱とを忘れぬ郷軍の鍛錬は火と燃えてたつぷり一時間、秋の朝に熱汗を流して七時半終了した【寫眞＝三坂分會の竹槍訓練】

貯蓄攻略戰に殊勳甲
廿億圓突破記念に功勞者表彰

朝鮮の國民貯蓄はつひに廿億圓を突破、總督府ではこれを記念するとともに、いよく今後の躍進に拍車をかけるため來る廿日貯蓄増強に挺身した功勞者及び團體の表彰式を行ふこととなつた、大東亞戰完遂への銃後赤誠の結晶として貯蓄廿億圓の突破は愛國半島の誇りでもあるので、その表彰銓衡方法も愼重を期し先づ各道の内申に基づいてけふ五日午後一時から總督府第三會議室で貯蓄奬勵委員會幹事會を開催、左の方法で被表彰者を選定することになつた

◇表彰の方法

表彰は朝鮮總督名又は朝鮮總督府財務局長名を以て表彰狀を授與し個人に對する表彰には副賞として國債または戰時債券を添ふるものとす

◇被表彰者の範圍

被表彰者は左に掲ぐる團體または個人にして國民貯蓄の増强に關し其事績とくに顯著なるもの（一）府邑面または區面長その他の府邑面職員（二）町里洞部落聯盟、各種聯盟若は愛國班又は町里洞部落聯盟の役員、各種聯盟の役員若は愛國班長（三）國民貯蓄組合または其の役員（四）その他道知事の適當と認むるもの

引揚邦人香港視察

【香港三日同盟】一日香港に寄港した交換船帝亞丸は四日午前横濱にむけ出帆する豫定であるが一般引揚邦人代表は三日午前、總督部海事班の斡旋で九龍側に下船、直ちに東亞ホテルにおける〇〇現地軍部隊長の招宴に出席ののち香港に到着、一同〇〇部隊の案内で戰跡視察をなし夕刻帝亞丸に引あげた

慰問雜誌等
十八萬部を突破

【東京電話】前線に活躍する將兵が戰鬪や任務の合間に慰安の糧として切實に求める雜誌、讀物類不足の聲が一度銃後に傳はると讀み捨てた雜誌や書籍でお役に立つのならばと前線の勇士に盡きぬ感謝を捧げる銃後國民の熱意が昂まつてわれくもと獻納の申込みが殺到、九月末日までに軍事保護院の一萬一千部、産組中央會の四千部をはじめとして直接間接に持參あるひは郵送するものなど總數十八萬部を突破する盛況で係員を嬉しい感激に面喰らはせてゐるが、陸軍恤兵部ではこの銃後の赤誠を出來るだけ早く前線の將兵に配達し感激させるであらう

畏し軍人援護に御仁慈
本庄軍事保護院總裁恐懼放送

【東京電話】軍人援護強化運動第一日の三日午後七時半本庄軍事保護院總裁は皇室の軍人援護に垂れさせ給ふ御仁慈に關し大要左のごとく恐懼放送した

畏くも皇室におかせられては常に御心を軍人援護に注がせられ數々の御仁慈を垂れさせ給ふことは今さら申し述ぶるまでもないが、昭和十三年十月三日總理大臣を召させられ多額の御内帑金とともに優渥なる勅語を賜はりました、軍人援護にかくも深く大御心を惱まし給ふこと洵に恐懼感激に堪へないところであります

明治天皇は國家に一命を捧げた人々のために一社を御創建遊ばされました、これが靖國神社の前身で深遠なる御叡慮のほどを拜察致した丶感泣に禁へません、その合祀祭に行幸仰せ出され親しく御拜を賜つてをりますことは畏しとも畏き極みであります

さらに宮中におかせられては明治以來戰爭に殪れた護國の勇士達の遺影を掲げてその忠誠を永久に偲ばせられてゐます、この建物が御府ですでに明治、大正の御代を經て昭和の今日まで振天府、建安府、懷遠府、惇明府、顯忠府の五府を御建設あらせられてゐるのであります

皇后陛下には昭和十二年九月二十一日出征軍人の家族、遺族のうへをお思召されて有難き御歌を詠ませられ、ついで同年十一月三十日英靈を弔ひその遺族を慰め給ふ御歌を賜はりました、又畏くも御自ら御卷きあらせられた繃帶を戰傷兵に下賜せられなほ軍事保護院關係の療養所その他の諸施設の入所者に對し御慰めのお思召をもつて菓花の種子および球根或は苗の苗を下賜せられました、かつ度々軍病院に行啓仰せ出され親しく傷病兵を御慰問遊ばされ、さらに昭和十三年十月三日には有難き御歌を賜はり傷病兵の平癒につき天地の神々に加護あらんことを御祈念あらせられたのでありまして關係者はもちろん國民悉く感涙に咽んだのであります

皇太后陛下におかせられましても度々軍病院に行啓遊ばされ親しく傷病兵を御慰問あらせられ、また失明した傷痍軍人に對しては次々に失明者用の懷中時計を下賜せられました、この時計には畏くも御紋章を刻ませられ第一號はお手許にとゞめさせられ傷痍軍人には第二號より下賜せられてゐるのであります、謹んで案じますに第一號の時計をお手許にとゞめさせられましたのはこれによつて失明傷痍軍人の不自由をしのばせ給ふお思召と拜察申し上げる次第であります、戰傷者はもちろん國民みな恐懼感激してゐる次第であります

銃後榮養陣に光
本社主催の講演會

米の配給が少い、肉が、バターが牛乳が……これでは戰時下の國民健康榮養戰線はどうなる？それは戰ひに勝つための銃後家庭の大きい課題なのだ、この秋無双原理講究所長櫻澤如一氏を講師とする本社主催、國民總力朝鮮聯盟後援の『國防榮養學大講演會』は愈よ來る七日午後七時、遞信事業會館講堂において開催その重要課題に對し力強い解決の指標を與へることになつた

講師の櫻澤氏は身をもつて日本的な正しい食生活研究のため歐米諸國に渡ることも十數回、その廣識、眞摯な所説は外來の直譯輸入榮養學に對し新榮養學の確立に精進してゐる

なほ八日、九日の兩日午前八時より午後五時まで商工會議所二階において無双原理講究所主催、本社後援のもとに講習會を開催、櫻澤氏直接指導によつて行ふことになつてゐるが

會費は晝食の給與をうける者は七円、普通は五円、希望者は京城商工會議所營業課鈴木貞一氏宛て葉書もしくは口頭で申込めばよい

第八回新穀感謝週間

【東京電話】恒例の昭和十七年度第八回の新穀感謝週間は來る十一月二十三日新嘗祭の感謝祭を中心に二十日から一週間大政翼贊會主催、農林省、内務省、文部省、商工省、厚生省、内閣情報局後援で全國一齊に展開、一億の赤誠を捧げて盛大な感謝行事を繰展げることゝなつた、今年度は大東亞戰爭下國民の食糧問題がますく重要性を加へて來たので一粒の米にも心からの感謝を捧げ新嘗祭の重大な意義を國民に徹底せしめて益々職域奉公に邁進しようと特に週間行事として盛大に行ふこととなつた

産業戰士腕比べ
京畿道ミシン競錬會

戰時生産技能の向上錬成をはかる朝鮮はじめての珍らしい機械競技京畿道被服工業組合の第一回ミシン競錬大會は四日午前十一時から京城上往十里町興亞學童被服會社工場で開かれた、道内から選ばれた男女卅八名の代表選手、けふこそは得意の足に手にものいはせてミシン技能を揮はんものと場内一ぱいに意氣溢れた、競錬は先づ午前中の足踏ミシンに引つゞいて午後からは動力ミシンに快い音を立たせて、銃後産業戰士の手腕を見事に展開した【寫眞＝ミシン競錬會】

優勝　宗原弘子（東和被服工場）
優秀　吉高在德（山本被服工場）
宮本日南（昭和被服工場）以下優良者七名

母親も海への關心昂めよ
竹下大將來鮮談

【釜山電話】京城海洋少年團の海洋訓練の開廠式に列席のため來鮮の大日本海洋少年團長海軍大將竹下勇氏は四日朝釜山上陸特急〝あかつき〟で北行したが機上で語る

朝鮮も最近海洋思想が漸く昂まり海洋少年團の數も漸時増加して來たが内地に比すればまだまだ幼稚であるからこれから機會ある毎に半島民衆の各層へ海洋思想を普及すると共に大いに力を入れなければならぬ、内地では男女中等學校にはプールの設備がありまた海邊などでは漕舟術、水泳、ヨツトの航操等を習得せしめ海洋思想の涵養、海の子としての錬成をはかつてゐる、四海をもつ日本としては陸海軍でも水泳等を習得せしめる必要がでなく女子即ち母親も海に對する關心をもち七つの海を制覇する國策遂行に寄與されんことをのぞんでやまぬ

支那陸士留學生歡迎會

【東京電話】東亞の盟主日本の陸軍士官學校にはるぐ南、中、北支および蒙疆の各地から新しく留學する第三十一期生を迎へ中國大使館附武官所主催の歡迎會が四日午前十一時半から麻布本村町の櫻華荘で催された、陸軍報道部から谷萩報道部長ならびに來朝中の林柏生宣傳部長出席、徐大使の挨拶について林部長は

中國の國民運動は青少年訓育にはじめねばならない、中國は大東亞戰の一翼として日本と同甘共苦の誓ひを果しつゝあるが苦なくして甘を求めてはならぬ、中國は國家を知らなかつた、諸君は個人を忘れて中國を愛し東亞を愛し從つて日本を愛することを心がけねばならぬ

と烈々たる心情を吐露する、ついて谷萩報道部長は

諸君は武を錬るためはるぐ留學してゐるが、新しい中國を負うて立つ人になつてほしい、日本はこの戰爭には絶對に敗けない自信がある

旨の訓示を與へた、これに應へて新入學生代表は力強い答辭に決意を披瀝して會食に移り和氣藹々裡に支那料理に舌鼓を打ち午後二時半散會した

八千八百餘萬圓
支那事變以來、銃後の軍事援護熱

【東京電話】支那事變、大東亞戰爭につゞく赫々たる皇軍の大戰果に對して燃えあがる銃後一億感謝の赤誠は慰問文、慰問品をはじめ國防獻金、恤兵金あるひは各種兵器の獻納となつて現れ、さらに遺家族への援護にと力強く展開されてゐるが厚生省および軍人援護會、銃後奉公會、愛婦など銃後々援團體で取扱つた獻金額が軍人援護強化運動第一日の三日厚生省から發表された、これによると昭和十二年七月支那事變勃發以來十三年末までの第一次寄附行爲期間に寄せられたこれら赤誠の結晶は大阪の六百四十四萬五千円（五萬餘件）を筆頭に兵庫四百十四萬餘円（一萬八千件）北海道一百十四萬餘円（一萬七千餘件）京都百五十四萬餘円（六千餘件）東京百四十六萬餘円（一千五百餘件）愛知百廿九萬餘円（二萬餘件）など總額二千九百七十六萬餘円（廿八萬七千餘件）といふ巨額に達したが、第二次寄附金行爲期間の昭和十四年以降十六年末までの概數はさらに飛躍して約五千九百萬円（四十九萬五千件）にのぼり銃後の心强い戰爭援護熱を示してゐる

米特使倫敦着

【リスボン三日同盟】ロイター通信ロンドン電によれば、アメリカ特使マイロン・テーラーは三日午後リスボンより空路ロンドンに到着した、兩三日間ロンドンに滯在の豫定

軍援に感謝のひとゝき

◇……〝父ちやんはますく元氣で中支〇〇前線で戰つてゐます、坊やも來年一年生とはさぞ大きく……〟懷しい夫からの便りをわが子に讀んで聞かせる母——はや嚴寒が訪れるであらう大陸の夫に送るジヤケツを愛情こめてせつせとあむ譯——母の讀む繪本にも戰線の父を思ひ浮べる子供——

◇……軍人援護強化週間二日目の日曜日、こゝは府城町愛國母子寮のひとゝもまどらかな團欒のひとゝき、わが夫をわが父を戰地に送つた寮の人達は世間の温い慈愛とゝもに不自由なく立派に留守を守つてゐる

◇……日一日と伸びゆく大東亞建設にも似てみな仲良く勇士の子等はすくくと育つ、夫森下所一氏を一線におくつて五年目を迎へた信惠さんは松彦君（八つ）慶子さん（六つ）の二兒を傍に

みなさんの御好意に甘えずしつかりと銃後の務めを盡す覺悟です

と言葉少ながら健氣にも語る、〝折柄〟勝つて來るぞと勇しく……〟と子供達が歌ふ聲が寮の娯樂室からオルガンの音に乘つて秋風で爽やかな〝母子寮〟の一日であるを流れてくる、【寫眞＝きのふ母子寮で撮す】

迷信大はやり
警報に病人は置去り

抗戰重慶のこのごろ

【廣東三日同盟】抗戰重慶の苦悩は自主の戰陣營の再建ばかりでなく民衆生活の困難から來る不平不滿が瀰漫してゐるが成都發行の大公報は最近の重慶市内および四川省の民衆生活その他を次ぎの如く報じてゐる

△警報の悲劇　七月廿六日の午後空襲警報が鳴り響き市民をびつくりさせた、ちやうどその朝の市内の新聞は『重慶の人口百萬突破』を報じてゐるが、食堂、遊戲場、街頭にあふれてゐる人々は警報を聞くや慌てふためいて刈りかけの頭が床屋から飛び出すやらお釣も取らずに店頭を右往左往するやら、病人を放つたらかした醫者、産婦を見棄てた産婆さんなどが防空壕に雪崩込んだ

防空壕の中は熱氣と惡臭でむせ返つてゐる、しかしこの日は警報ばかりで幸ひ爆擊はなかつたが、日本の飛行機が大編隊で暴擧大爆擊をやつた苦汁を市民はみんな嫌といふほど味つてゐるので戰々兢々としてゐる、その翌日政府から強制立退きを命ぜられた市民は一萬五千名あつたさうだが、それよりも政府はこの機會に防空設備を眞劍に檢討すべきだ

△雨乞ひ迷信　旱魃が重慶市民に與へる直接の打擊は素より心理的打擊も極めて大きい、雨乞ひに使ふ草で編んだ龍がすでに街頭に氾濫し市内の各所でどらや爆竹を鳴らして雨乞ひが盛んに行はれてゐる

當局はこの樣子を見て迷信打破のため取締りに乘出してゐる、しかし教育程度の低い民にとつては何ら効果なく却つて反感を買ふ位が關の山だ

これ以上旱魃が續けばさらに複雜怪奇な雨乞ひ迷信が出現するだらう、雨が降らないため野菜が不足で白菜は一斤十元、ねぎは六元といふ暴騰ぶりだ

△街の輿論　アメリカ特使カリーは重慶に數十日滯在して先日歸國した、街の評論家はカリーの來訪によつて今後アメリカから多大の援助を寄せられると見て非常に期待をかけてゐるやうだ、これもとらぬ狸の何んとやらで、こんな輿論が街に氾濫するとは悲しい限りである

カリーは新聞記者との會見席上種々質問に答へたが歐洲の第二戰線結成問題については彼の特命範圍外だといつて答辯出來なかつた、獨ソ戰に關して八月三日の重慶の某夕刊紙は共產軍と第〇〇集團軍を朱德に指揮させて援ソ隊を組織しソ聯に派遣して共同作戰を遂行せよと論じたがこの論はすでに一部の要人間で眞面目に考へられてゐるものである

△新政治氣風　四川省主席張群は先ごろ重慶區行政會議を開いた、會場は郊外の南溫泉だからついでに避暑でもしようといふ魂膽だつたらしい、會議は人夫徵集兵役、新學制、經濟建設、水利などが議せられたが、どどのつまりは何時もながらの『中央と協議する』といふ結論に落着いた、張群は會議で『新しい政治氣風』の確立を主張した、この日張群が南溫泉から出かける時護衛が從はんとするや『俺も一市民だ、護衛する必要はない』と拒んだ、多分これが『新しい政治氣風』といふものかも知れない

△資格偏重の惡弊　大學の入學志願者が相變らず多い、殊に經濟科が多いやうだ、これは今年の經濟科卒業生の賣行がよかつたからである、志願者の年齡も二十四五歳から三十歳近いものが目立つて多くなつた

このうちには子供を持つてゐるもの就職濟みのものあるひは前線で銃をとつて來たものから甚しきは軍官學校の卒業生まである、學歷や資格のみ重んずる弊風は何時になつたら止むことだらう

早害義捐金募集

今夏半島を襲つた旱害は相當甚大なものがあり、被害地民はその克服に必死の努力を續けてゐるが社團法人朝鮮社會事業協會では關係各方面援助の下に全鮮より八十萬円の義捐金を募集することになり本社でも右趣旨に贊同ここに心かなる同情を以て之に協力、特に義捐金の受付を左の如く開始した、大方諸彥の同情ある醵出を切望する次第である

規定　1、義捐金の受付は本社庶務部に於て取扱ひます　2、一口一円以上に願ひます　3、地方よりの御送金は京城府太平通一丁目三十一番地京城日報社庶務部宛『振替京城三〇〇番』を御利用願ひます

昭和十七年十月　京城日報社

感恩報始日
軍援運動第二日

【東京電話】皇軍の赫々たる戰果に應へて感謝と報恩の赤誠のうちに澎湃として全國に繰展げた軍人援護強化運動第一日にひきつゞき第二日の四日は第一日にもまさる熱意をこめて一億國民擧つて全國津々浦々に各種の意義深い催しが行はれた、この日帝都では『感恩報始の日』と銘打ち午前九時から日比谷公會堂において大日本青少年團主催のもとに軍人援護少年團大會が開かれたのを皮切りに十時から都下二十二大學生七千名が武裝に身をかため芝增上寺境内に集合、都下大學合同慰靈祭が執行された、また午後六時からは丸ノ内會館で傷痍軍人座談會が開かれ雄々しく更生した傷痍軍人の貴重な體驗談が公開されたほか……

國民健康保險組合設立促進

【東京電話】日本醫師會では國民健康保險制度の普及徹底のため去る廿日同醫師會幹部をもつて國民保險組合普及促進隊を組織、積極的に全國の特殊區域（特殊の事情により設置困難なもの）に呼びかけることゝなつたが、このほど全國醫師會に對し次の事項を通達した、なほ現在同制度の實施をみてゐるものは約一千八百組合で本年度中には七千組合設立を目標とし二年後には全國二萬組合の設立完了を見る豫定である

一、會員として健康保險制度の根幹として國民生活に最も影響深き醫療の普及および保健施設の重要性とその趣旨目的を再認識するの方途を講ぜしめると一、同保險制度は健兵健民施策の中核にあり、よつて全醫師の職域たることを自覺されたい　一、醫師は當該町村長と連絡をとり國民健康保險組合の設立促進に努むること　一、同保險組合の設立に際しては率先發起人となると一、道府縣醫師會内に普及促進隊を組織し府縣當局と連絡し組合の設立を容易ならしむる方途を講ずると組合設立後においては理事などに就任し事業およびその運營に萬全を期すること

東京大學野球
明大立教に勝つ

【東京電話】明大對立教二回戰は午後二時五十分開始、結局5—2で明大勝つ、閉戰五時十二分

明大（先）	030010000	5
立教	200000000	2

投捕　明大　島—田中
立教　沙押、小島、長野

慶應、東大に敗る

慶大	001100000	2
東大	000000021	3A

試合開始　午後零時十七分
終了　同二時三十四分
審判　天知、長澤、關口、西村
投捕
慶大　大島—酒井
東大　稻田—山崎、樋田、梅原

臨時競馬　四日目

▼ア系新抽（一、八〇〇）十頭1トリマス吉田二分八・四單二百円、特配八円五十錢
▼抽新（一、八〇〇）七頭1シンハヤブサ田中利二分七・一單三十一円五十錢
▼抽障特別（三、〇〇〇）四頭1ホシカツ利國三分三四・四單二十三円五十錢
▼呼障特別（三、三三〇）五頭1クンプウ中村友三分五六・三單廿五円五十錢
▼古呼（一、八〇〇）八頭1アツマフジ森二分〇・三單六十二円
▼ア系抽古（一、八〇〇）十一頭1アカツキ梶谷二分〇五・一單

日本の脅威に戰々兢々 米國兵はお客扱ひ

交換船鎌倉丸にて 安藤同盟特派員發

戰時下の濠洲

亂暴なお客樣

濠洲におけるアメリカ軍隊は恰もお客樣扱ひにされてゐる、その食事も濠洲兵よりもずつとよいとが新聞に報道されてゐた、自動車のガソリンもより多く支給されてゐる、テントの中でも濠洲兵は火をたいてゐないのに、米兵は濠洲民衆が不足のため困つてゐる薪をたくことを許されてゐる、その薪は濠洲兵が伐り出して山から運んで來たのだとアデレードの軍司令官バンドツクは薪不足の話のついでに新聞記者に語つてゐた

米兵の亂暴は屢々新聞の社會面を賑はせた、シドニーで交通整理にあたつてゐた米兵は、自動車のヘツドライトの遮蔽がうまくいつてなかつたといふので、突然拳銃を發射したため道路を歩行してゐた市民の足に彈があたつた、米濠關係者打合せの結果、今後ピストルは射たぬことに話が決つたといふことも聞いてあつた、アデレードでは前大戰で傷つき、松葉杖をついた濠洲勇士を米兵が毆つたといふ記事もあつたが、最近最も話題の種となつたのは、ニューヨーク七十七通在住のエドワード・ジヨセフ・レオンスキー（二四）といふ米兵が五月三日から十八日までの間にメルボルンで三人の濠洲婦人に暴行殺戮を働いて問題となつた、彼は從濠米軍の軍法會議にかけられ、七月十七日死刑の宣告を受けてゐる、これ等は我々の眼にふれた少數の例にすぎない

脅威に恟々

濠洲は日本が再三再四對濠警告を發しても大東亞共榮圏內へ自ら飛び込んでくる氣持には到底なつてゐないやうに見受けられる、それは濠洲は英國と運命を共にすることを大義とせねばならぬ血の繋がりの强い關係とマツカーサーを救ひの神の降臨の如く歡喜して迎へた行懸りや、米國軍の濠洲占據ともいふべき動かし難い存在、デモクラシー思想固守の信念、白濠主義の固執、戰前よりの對日デマ宣傳の影響等の諸關係がなほ存在してゐるためである、日本の脅威に戰々兢々としてはゐるが、攻擊の度合がゆるめば彼等の希望的觀測や生來の樂天性は日本の南進急ならずといふ如き安心感に傾くことがあり、かゝる機會において米國通信員等が『守勢から攻勢に轉ずべき時は今なり』といふやうな觀測的ニュースを米國に送る場合があつた

食糧と勞力

食糧及び軍事資材關係、豫算關係及びその他の經濟的事情についてみるに、小麥のストツクは一九四一年十一月現在において一億二千萬ブツシエルであつたが、四三年一月には二億二千萬ブツシエルになる豫想である、國內消費高は年額大體五千萬ブツシエルであるから、右の數字から判斷してみると相當の貯藏量を有するものと見ねばならない、食糧に關しては自信をもつてゐるらしい、しかしてこゝにも勞動力の問題が關聯してゐる即ち農民の勞動力を軍需工業、兵力等へ多分に轉換せしむるやうなことがありとすれば、食糧問題にも影響してくるので農民勞動力の軍事關係、勞動力への轉換限度につき業者の間に意見がたゝかはされてゐる濠洲戰時經濟の第一人者といはれてゐるウオーカーの如きは、農地を一定期間乾田のまゝ放置しても軍事需要のため勞動力を割くべきであると主張してゐる

それは濠洲の小麥ストツクを背景として考へられ得る兵力及び軍需勞動調達の非常手段として解されるところであらうが、然しその際に問題になるのは果して政府にそれだけの强制力があるかといふ點である、自由主義的經濟に立脚した政治家の勢力の大きい濠洲でかゝる重要な社會問題は容易に決定し得ないであらう、農業勞動力を軍需產業勞動力へ轉換せしめんとするに對し、農民は從來農村から多數の兵力を送つて、勞力は既に不足してゐる現狀にある上に更に勞力を再割讓することには反對だとしてゐる、農民側は刈入どきその他の農繁期に當り『政府に勞動力不足の補充を保障出來るか』と叫んでゐたが、被抑留者等を果實採りなどの輕い勞動に使用することに對しても、勞動組合は賃金收入の減少、職場の蠶食などを感じて反對し、この問題で揉めてゐるのもそれがためであつた

更に農民の徵兵忌避傾向も理由の一つと新聞に書かれてあつたなほ農民數は一九三三年の國勢調査によれば七十萬人であつたこの內には小麥耕作者のほか水產、林產關係、野菜、果樹作りの農民を含むが、この內既に多數は軍事關係方面へ轉換してゐるので現在は約五十萬人程度ではないかとみられてゐる

その他の物資

羊毛關係を見るに一九四一年の收穫高は三百六十萬俵、戰前における一年の國內消費高は四十萬俵程度であつた、鐵鑛石は南濠のアイアンノブ、アイアンモナコで二百五十萬トン（一九三八年）を產し全濠產額の九十九パーセントを占めてをり、埋藏量は一億七千萬トンといはれてゐる、これがニューカツスル、ポートケンブラ製鐵工場及び熔鑛爐に送られてゐることは既述したが、最近はワイアラにも熔鑛爐が設立されてゐる

鐵鑛の不足に惱んでゐることは確なやうである石油は戰爭前までは總消費量の六十四パーセントは蘭印より、二十二パーセントはイラン方面より、十三パーセントは米國より輸入されてゐたが、蘭印の喪失、海上輸送不調の今日それが如何なる事態を招來するかは容易に想像出來る、たゞストツクの量が明瞭でない、民間自動車用ガソリン配給は一台一ケ月二ガロン程度と報道されてゐた、ゴム不足はいふまでもなく政府は全濠をあげて屑ゴムのかき集め運動を行つてゐる、衣類は六月十五日より切符制となり、お茶も配給制となつてゐる、煙草の八割は輸入にまつが、砂糖はクインスランド方面より、コーヒーはニューカレドニヤより輸入されてゐる、軍當局は民間用の消費を節減して食糧及び原料の節約貯藏に勉めてゐるので、アデレード附近などでは勞動力の不足も手傳つて馬鈴薯、玉葱なども容易に手に入らぬ狀態である

お茶は一週間一人二オンス、私などの收容キャンプには『お母さんがお茶を欲しがつてゐるから少し呉れ』と飛込んできた者もあつたし、ある第三國人がお土產に卷煙草二十本入を『外では却つて手に入りません』と喜んで持つて歸つたことも一般人に相當煙草不足を來してゐることを物語るものの一つである

半島縮刷版

期限に遲れるな

征けぬ身は金屬でご奉公

【城津】征けぬ身はすべて金屬で應召…各家庭に死藏されてゐる鍮製品、眞鍮に新しく召集令が下りさる十五日から府民の溢り上る赤心にわれもわれもと集荷場へ押しかけ懷しき銃後の風景を隨所に描いてゐるが、まだ一部の家庭には因襲的な風習から無用の金屬に執着を持つものがあるやうで府では金屬に代る代替物もあり殊に鍮眞鍮にして指定物件には補助もあることだしこの際一切を國に捧げるといふ愛國心で十月十九日までの期限內に殘つて應召に加はるやう望んでゐる

金泉の市日改正

【金泉】郡內の市日を左の通り改正した

金泉十日、二十日、三十日▲知禮九日、十九日、廿九日▲大德七日、十八日、廿八日▲梨川三日、十三日、二十三日、▲大新一日、十一日、二十一日

國語講師打合會

【淸津】府總力課では二日午後一時から府會議室において國語講師の打合會を開催、各講師から講習會の中間報告を聽取するとゝもに受講者の指導方針について種々協議を遂げた

大邱醫專卒業生

【大邱】戰下醫療報國の重大使命を背負ふて起つべき大邱醫學專門學校第十一回卒業生卒業證書授與式は既報の通り午前十時から山根校長ほか官民列席のもとに盛大に擧行したが今回の卒業生五十六名の校門を出てからの各地進出を打診して見れば左の通り

官廳囑託醫一名▲銀行會社囑託十七名▲官公立病院九名▲私立病院一名▲研究のため母校に殘るもの十一名その他十七名

木炭消費者登錄制

【釜山】木炭消費規正の强化を圖り配給の適正を期するため府ではいよいよ十日を期して木炭消費者の地區別登錄制を實施することとなつたがこれが實施に當つては配給の對象を現實的に置きその生活樣式に從ひ配給券購入票を以て配給の円滑を期する筈である

海州視察團北鮮へ

【咸興】海州商工會議所議員視察團一行は、北鮮地經濟事情視察のため一日午後三時十分着列車で來咸、二日日窒工場を視察の上午後三時十七分發列車で咸北に向つた

咸南に防犯組合

【咸興】われらの街の治安はわれらの手でといふ建前のもとに、いよいよ咸南道に『防犯組合』といふ新しい組織が出來あがる、戰ふ銃後にあるまじき犯罪の續出しと、治安の確保を期するには先づ大衆の自衞防犯に對する協力をいよいよ一層積極化するにありとされ道當局では現在の愛國班內にある防犯運動をさらに一歩前進せしめて適當なる地域を單位とする優秀なる部民を選拔し警察の指導下に系統ある防犯組合を組織、これを刑事警察の外郭團體たらしめることになり、目下計畫を急いでゐる

炭俵編製講習會

【羅南】本年度の木炭增產計畫に要する炭俵百廿萬枚の編製如何は木炭の出荷に影響するところ甚大であるばかりでなく、これが編製は農山村地方における最もよい副業として道山林當局は積極的獎勵に乘出すこととなり一先づ炭俵編製講習會を開催してその編製の指導をする、この講習會は各郡が炭俵の編製に需給計畫に基き指導を必要とする個所を選定、炭俵編製を業とする者の中から技術優秀にして指導に適する者を指導員として當らしめる外郡及び薪炭生產組合職員がその指導に當る、各郡とも實情に即して今月中に夫々同講習會を開き豫定計畫の編製確保と利用の適正を期することとなつた

防火中警部補重傷

【淸津】去る卅日夜七時ごろ出火二棟二戶を全燒した府內浦項町九〇番地繁華街の火災に際し常備消防隊の指揮にあたつてゐた淸津消防署幡谷菊雄警部補は猛火を物ともせず勇敢に現場に飛び込み敢鬪中土壁の下敷となり右大腿骨を挫折したうへ顏面その他數ケ所に全治六ケ月の重傷を負ひ目下北鮮醫院に入院加療中である

沙里院高女體鍊會

【沙里院】戰捷建設を讃へリンゴ實秋に鍛へる沙里院高女第十五回體鍊大會は廿九日午前九時半より同校々庭にて尾崎校長はじめ、官民父兄多數參席裡に開場次代を擔ふ戰捷銃後女性の意吹も高らかに制服の處女ら四百餘名は團體訓練を基本に戰時色濃厚な四十七種の競技を全學級が一體となり赤、白に分れて競ふ鬪志と若鮎の如き健康美も逞しく必勝に備へて學ぶ女性に相應しき心身鍛錬の總力を發揮し同午後四時半盛況裡に閉會した

忠北の貯蓄目標

【淸州】忠北道では本年度貯蓄目標九百萬円必達を期し愈よ農林產物の收穫期に直面してゐるので貯蓄獎勵の趣旨普及徹底にこれが增强方策の强化推進に拍車をかけ貯蓄實績擧揚を圖るため次の日割で各郡別に郡守、內務課長、貯蓄事務擔任者及び郡內各邑面長、郵便局長等を招集し貯蓄に關する地方懇談會を開催せしめ道から係官臨席の下に貯蓄認識の普及徹底、國民貯蓄組合の整備擴充、國債々券の消化促進に關し隔意なき懇談を遂げ貯蓄獎勵機關としての本格的活動に備へることとなつた各郡別日割は次の通り

▲淸州來る九日▲報恩同七日▲沃川同六日▲永同同五日▲鎭川同十日▲槐山同九日▲陰城同八日▲忠州同七日▲堤川同六日▲丹陽同五日

ラヂオ（五日）

朝 六・三〇 1『勤勞道修練』佐枝義重、2愛國詩▲七・二〇音樂（音盤）▲七・四五（城）今日のお知らせ（朝鮮語）▲九・〇〇（城）軍人遺家族を訪ねての感激▲九・三〇（城）戰時生活問答（鮮語）▲一〇・〇〇ウタノオケイコ『アキノウタ』▲一一・〇〇音樂『ヘイタイサン』東京放送管絃樂團

晝 〇・三〇（城）管絃樂『スペードの女王』序曲ほか▲一・〇〇朗讀『厚生する傷痍軍人』隻手の誓、希望の汗▲二・〇〇『學校新聞』太田正孝▲二・三〇（城）朗讀『北洋の生態』（鮮語）白野牧子▲四・〇〇『國語二の編纂趣旨』松田武夫▲四・三〇（城）國史譚『勝海舟』（鮮語）琴川寬

夜 六・〇〇組曲『御國の護』をぢさん有難うほか東寶合唱隊▲六・三〇（城）1マンドリン五重奏『露小徑』2マンドリン合奏 行進曲『空をゆく』ほか武井樂團▲七・五〇（ベルリンよりドイツ通信）▲八・〇〇（城）歌謠曲1京の旅人、2忠靈の歌、3故郷、4息子の血書、5千里の旅 白年雪（城）玄琴散調と伽倻琴併唱1『玄琴散調』2『伽倻琴併唱』中快童▲九・〇〇1物語『部隊長と林檎』2合唱『大日本の歌』『國に誓ふ』ほか西村樂天、日本放送合唱團

愛の赤道（230）

竹田敏彦（作） 都竹伸一（繪）

南の風雲（九）

『あら、お兄樣、御無沙汰ばかりいたしまして……』

千鶴子は、相手に見せてはならない心の狼狽を紛らすやうに、恭輔を見るなり、その方へ、周章て會釋をした。

『今日は、これから、何處かへお出掛けかね』

恭輔は、千鶴子の着替への姿を見て訊ねた。

『おかげで、お宮詣りになりましたので、日枝神社へお詣りいたしまして』

『おや、もうそんなになるかな…なるほど、大分しつかりしてきたね』

恭輔が、征一の顏を覗くと、

『なあ、恭輔……』

お繼が呼びかけ、

『はい……』

と、見上げる恭輔の顏を眺めながら、

『この子の顏立は、誰に似てゐるのかしら。二郎の幼顏とは、すつかり瓜ふし……』

お繼は、またしても繰返した。瞬間、恭輔の驚きが、千鶴子の眼にはまざまざと見えたが、

『さうですね……お父さんの顏ですよ』

『さうかしらね』

子供の時から、恭輔は父親似、二郎は母親似と、知人の間にも、專らいはれてゐた。千鶴子も恭輔の巧な返答にいくらかほつとすると恭輔はすぐ、

『それぢや、御祝儀の犬張子か、でんでん太鼓でも買つておけばよかつたな』

話を外らせた。

『いえ、この御時節ですから、そんな物は、玩具屋にもございませんでせう。お祝の飴なんかもとてもございますまいと思ひまして、失禮させていただきましたの』

『なるほど、飴はなからうな』

恭輔は、笑つて、

『ぢや、大事におし、わざわざ丁寧に』

一同誰も歡迎しない樣子を見て、

『餘計なことをいはない間に、早く切上げて歸つた方がよからう』

といつた風に恭輔は、千鶴子のため、歸りのきつかけを作つてくれた。千鶴子もすぐそれに應じて、

『それでは、これで失禮させていただきます』

お繼を初め、一同に挨拶して、そのまゝ勝手口を出た。

家の初孫に生れながら、晴れの宮詣の挨拶にも、世を忍ぶ裏口から來て靈の上にも上げられないばかりか、祝の言葉に代る祖母の皮肉に、追ひ返されて歸る自分達母子を顧みると、千鶴子は、征一の傷々しさに、顏を擦り寄せて、心から詫びた。

そして、ぐるりと表門の外へ廻り、小川の石橋の方へ廻らうとすると、一人の郵便集配人が擦れ違ひに大門の方へ近づき、一通の手紙を狀受函の口へ投げ入れた。

それから、凡そ半時間も經つてからである。恭輔は日曜日の徒然にもあいて、所在なささうに部屋の縁側で讀みあいた新聞を展げたまま、彼も先刻征一について、義母のお繼の言つた言葉を考へてゐた。

『まさか、知つて言ふのでもあるまいが……』

あの瞬間のお繼の恐ろしい眼を思ひ出し、かうした事には一種の神祕的にまで發達した老女の鋭い神經に驚いてゐた。

その時、ちやうど、午飯の仕度中の晃子が台所から入つてきて、

『南洋から、お手紙ですよ』

と、一通の手紙を恭輔に渡した。

『二郎かな』

軍事郵便のスタンプを見て、急いで封筒の裏を返したが、そこに認めた差出人の名は、比島派遣××部隊 丸山繁一郎

『はてな、何處の人だらう』

恭輔は、ちよつと小首を傾げた。